
参考資料 2

ケースミックスを活用した医療機関外来機能の評価方法の検討

ケースミックスを活用した医療機関外来機能の評価方法の検討

東京医科歯科大学 助教授 伏見清秀

A. 背景と目的

国民皆保険とフリーアクセスとを柱とする我が国の医療提供体制は、その質の点に於いても世界一の平均寿命に象徴されるように国際的にも非常に高い水準にあると認められているが、その一方で、医療機関の機能未分化や医療保険の財政的逼迫等、その効率化が強く求められている。特に、患者数および医療費に関する外来入院比率が諸外国に比較して高いとされる点等の外来診療のあり方に関しては、それらの是非を論ずるばかりではなく、外来診療の実態把握と適切な評価も含めて十分な検討が必要と考えられる。

診療報酬体系の見直しの議論においては、これまで外来医療の報酬上の評価が焦点となっており、2002年12月に公表された診療報酬体系の見直しに関する厚生労働省試案においても①大病院については専門的な外来診療の機能等を評価し、②診療所及び中小病院については地域住民の初期診療等のプライマリケア機能等を重視した評価を進めるとの方向性が打ち出されている。しかしながら、診療報酬評価を検討するために必要な、大病院、中小病院、診療所のそれぞれで行われている外来診療の実態及び相互の医療連携について十分に把握されてこなかったのが現状である。

わが国においては、入院診療と外来診療が全国レベルで同じ診療報酬体系で評価され、しかも傷病名と診療行為に関する情報が含まれたデータがすべて保険者に提出されているという、他の国には見られない特徴がある。従って、このような情報をもとに外来機能の評価を行う方法論を開発することが可能であり、またそのような方法論は入院・外来を同様の基準で評価できる可能性を含んでおり、国際的にも画期的なものになる

と考えられる。

そこで厚生労働科学研究「医療機関類型ごとの外来診療の実態はあく
と評価に関する研究」の一部として、医療機関の外来機能を患者の傷病
を基礎としたケースミックスの観点から評価する方法論の開発を検討し
た。

B. 方法

先行研究において、患者調査の患者票傷病名 ICD10 コードを 2002 年
に本邦で開発された診断群分類システムである DPC(Diagnosis
Procedure Combination)に割り付けることにより、個々の患者の複雑性等
を評価出来ることが明かとなっている。DPC は臨床医学の観点と医療経
済的観点から疾患をグループ分けし、医療機関の機能評価や医療マネ
ージメントを行うためのツールで、平成 15 年度からは特定機能病院の診
療報酬の包括評価に利用されているものである。本研究では、この先行
分析をさらに推し進め、外来再診患者の DPC 主要診断名から医療機関
の外来患者特性(外来ケースミックス)を推測する方法を検討した。先行
研究で明らかとなった疾患別、医療機関種別患者数の状況を、医療機関
種類別に DPC の 575 疾患分類の患者数として、初診、再診患者数別
に再集計し分析を試みた。さらに、医療機関の外来特性の評価の検討を
進めるために、DPC 分類を活用して医療機関の外来機能の評価に応用
可能な指標の開発を試みた。

C. 結果

まず、医療機関種類別に DPC の 575 疾患分類の患者数の状況を、初
診、再診患者数別に集計し分析を試みた(付表1~4)。575 程度の疾患
分類は、大きな集団レベルで疾患の分布状況、医療資源の必要度の状
況等を把握するには適当であると考えられた。そこで、医療機関の外来
特性の評価の検討を進めるために、DPC 分類を活用して医療機関の外
来機能の評価に応用可能な指標の開発を試みた。先行研究(平成 15 年
度厚生労働科学研究・統計情報高度利用総合研究事業「レコードリンケ
ージ解析を利用した医療経済面を含めた医療関連統計調査の活用方法

等に関する研究」、平成 15 年度厚生労働科学研究・政策科学推進研究事業「急性期入院医療試行診断群分類を活用した調査研究」において、DPC 分類による複雑性(重症度)、効率性、稀少性等の方法論が示されており、本研究ではこのうち外来診療の評価に応用可能と考えられる複雑性と稀少性の指標の有効性を検討した。なお、DPC 疾患分類毎の複雑性指数、稀少性指数は先行研究で求めたものを利用した。具体的には、医療機関種別の複雑性指標は、DPC 疾患分類毎の在院日数の全医療機関平均値と当該医療機関種別内平均値の比率を、当該医療機関種別の DPC 疾患分類毎患者数で加重平均したものであり、稀少性指数は、DPC 毎の患者数割合の逆数の常用対数を当該医療機関種別の DPC 毎の患者数での加重平均したものとした。再診患者での集計結果は下表のようになった。

医療機関分類	外来複雑性	外来稀少度
特定機能病院	8.984	2.395
大学病院	8.893	2.266
臨床研修	8.951	2.215
国立病院	9.098	2.096
公立病院	8.969	2.115
公的病院	8.981	2.123
社会保険病院	9.221	2.109
公益病院	9.139	1.993
医療法人・個人等 400 床～	8.936	2.087
医療法人・個人等 200～399 床	8.967	2.037
医療法人・個人等 100～199 床	9.091	1.951
医療法人・個人等 50～99 床	9.239	1.957
医療法人・個人等～49 床	8.730	1.965
精神病院	7.416	1.395
結核療養所	8.565	1.853
診療所	8.727	1.855

再診患者において、受療患者数が圧倒的に多い診療所が複雑性、稀少性の指数が低く、一方、特定機能病院等の教育機関の疾患稀少性指数が非常に高い特徴が読み取れた。中規模医療機関は疾患複雑性が比較的高いことは予想外であったが、比較的複雑性が高く評価される外傷、脳梗塞等がこれらの医療機関の外来においては比重が高いことなどが影響している可能性がある。一方、稀少性に関しては、特定機能病院等での特徴的に高く、これらの医療機関が外来に置いて稀少な疾患の治療を担当している事が示された。全体的には、外来稀少度がやや特徴的である以外は医療機関の特性差異があまり認められておらず、我が国医療の外来機能の未分化を端的に示している可能性がある。しかし、複雑性の評価に置いては入院医療の在院日数等を指標にしているため、外来機能の評価にそのまま応用出来るか、在院日数が複雑性の評価に妥当であるか、特に急性期医療の評価に限定して評価する必要があるのではないかと、また、医療費との関連性を評価する必要があるのではないかと、など多くの点について次年度以降検討を継続することとした。いずれにせよ、効率的なディジーズマネジメントのあり方が注目されてきている現状において、医療機関の外来機能の評価は今後ますます重要になってくると考えられ、この点で DPC575 分類を活用した外来機能の評価をさらに進めていくことが有用であることが示唆されていると考えて良いであろう。

D. 考察

ケースミックス理論を用いた外来機能評価の検討により、地域における受療患者数の動向、受療患者の疾患分布から見た医療機関の機能評価の可能性等が示唆された。次年度以降、これらの検討を進めるとともに文献サーベイ等を並行して進め、外来診療の評価方法等を検討していく必要があると考えられた。

E. 結論

診療報酬情報を活用した医療機関の外来機能の評価方法として、ケースミックスを応用した評価方法を検討し、その可能性を明らかとした。

参考資料 3

外来診療行為の技術難易度に基づく
外来診療機能の評価方法の検討

外来診療行為の技術難易度の評価による 外来機能の評価方法の検討

東京医科歯科大学 助教授 伏見清秀

A. 背景と目的

国民皆保険とフリーアクセスとを柱とする我が国の医療提供体制は、その質の点に於いても世界一の平均寿命に象徴されるように国際的にも非常に高い水準にあると認められているが、その一方で、医療機関の機能未分化や医療保険の財政的逼迫等、その効率化が強く求められている。特に、患者数および医療費に関する外来入院比率が諸外国に比較して高いとされる点等の外来診療のあり方に関しては、それらの是非を論ずるばかりではなく、外来診療の実態把握と適切な評価も含めて十分な検討が必要と考えられる。

診療報酬体系の見直しの議論においては、これまで外来医療の報酬上の評価が焦点となってきたおり、2002年12月に公表された診療報酬体系の見直しに関する厚生労働省試案においても①大病院については専門的な外来診療の機能等を評価し、②診療所及び中小病院については地域住民の初期診療等のプライマリケア機能等を重視した評価を進めるとの方向性が打ち出されている。しかしながら、診療報酬評価を検討するために必要な、大病院、中小病院、診療所のそれぞれで行われている外来診療の実態及び相互の医療連携について十分に把握されてこなかったのが現状である。

わが国においては、入院診療と外来診療が全国レベルで同じ診療報酬体系で評価され、しかも傷病名と診療行為に関する情報が含まれたデータがすべて保険者に提出されているという、他の国には見られない特徴がある。従って、このような情報をもとに外来機能の評価を行う方法論を開発することが可能であり、またそのような方法論は入院・外来を同様の基準で評価できる可能性を含んでおり、国際的にも画期的なものになる

と考えられる。

そこで厚生労働科学研究「医療機関類型ごとの外来診療の実態はあくど評価に関する研究」の一部として、医療機関の外来で実施・提供されている診療行為の内容から医療機関の外来機能を評価する方法論の開発を検討した。

B. 方法

特定機能病院、teaching hospitals での実施頻度から診療行為を高度専門技術、専門技術、一般技術と定義し、その分布に基づく医療機関外来機能の評価を試みた。初年度は、医療技術水準のことなる医療サービスの提供状況から医療機関の機能を評価する方法について文献的に情報を収集し、また、社会医療診療行為別調査調査票の小分類別診療行為の医療機関別実施割合から、医療サービスから医療機関の外来機能を評価するための指標を検討することとした。

C. 結果

社会医療診療行為別調査調査票の小分類別診療行為の医療機関別実施割合から、医療サービスから医療機関の外来機能を評価するための指標を検討したところ、特定の手術、画像診断、検査等が特定機能病院等で非常に高いことが明らかとなった(表1)。これらには、耳鼻科・眼科等の手術、特殊な検査、放射線治療等が含まれていた。しかし、これらの医療費に占める割合は非常に低いため、これらの指標のみから外来機能を評価するのは困難であることが予想された。次年度以降、これらの指標を組み合わせるとともに、さらに範囲を広げて、病院の特性別に外来医療サービスの技術水準を推定し、医療機関毎の外来機能の評価を検討する必要があると考えられた。

さらに、今後、傷病名と診療行為を結びつけて外来の機能を評価するための予備的調査も含めて、外来傷病名と診療行為の相互関連性の調査を実施した。医療費に占める外来の主要疾患は表2のようになり、上位11疾患について、疾患別の医療行為別点数割合を統計的に解析し、疾患特異性の高い個別診療行為の一覧を作成した(表3-1から表3-11)。これらの一覧表から示されるように、疾患特異性が高い診療行為

は臨床的にも妥当性が高いものが大部分であり、社会医療診療行為別調査の傷病名項目の妥当性がかなり高いものと推定された。また、本方法による疾患特異的診療行為の抽出方法の妥当性も高いと認められた。

次年度以降の分析では、疾患名を軸に診断群分類との連結の方法を用いて、診断群分類別外来医療費の推計方法の検討や疾患名と医療費を組み合わせた外来診療機能の評価方法の検討に発展させていくこととし、本年の研究成果はこれらの基盤として十分に有用であると考えられた。

D. 考察

外来診療行為の技術水準に基づく評価によって、提供される技術の難易度等から外来機能が評価出来る可能性が示された。次年度以降、これらの検討を進めるとともに文献サーベイ、医療機関へのアンケート調査等を並行して進め、外来診療の評価方法等を検討していく必要があると考えられた。

E. 結論

診療報酬情報を活用した医療機関の外来機能の評価方法として、外来診療行為の技術水準に基づく評価方法を検討し、その可能性を明らかにした。

表1. 高度専門技術を要する外来診療行為一覧

診療行為名称	100万点あたり点数	特定機能病院での 実施割合
K318鼓膜形成手術	16.33	100.0
K689内視鏡的胆道ステント留置術	3.77	100.0
K269瞳孔形成術	3.62	100.0
K242斜視手術・後転法	3.25	100.0
K052骨腫瘍切除術・鎖骨, 膝蓋骨, 手, 足, 指, 他	2.35	100.0
K388喉頭粘膜下異物挿入術	2.24	100.0
C103在宅酸素療法指導管理料 1チアノーゼ型先天性心疾患	1.01	100.0
J021持続的腹腔ドレナージ(開始日)	0.43	100.0
K212兎眼矯正術	0.38	100.0
D016ロゼット法によるリンパ球サブセット検査	0.28	100.0
D305食道鏡検査・90/100	0.21	100.0
D225観血的動脈圧測定・1時間超	0.15	100.0
D225観血的動脈圧 1回又は1時間	0.10	100.0
D289その他の機能テスト 膝機能テスト	0.08	100.0
M004密封小線源治療・外部照射	0.06	100.0
K522食道狭窄拡張術 直達鏡による	6.89	97.0
D250平衡機能検査・刺激又は負荷を加えた場合	0.20	92.2
D401脳室穿刺	0.20	88.2
K809膀胱子宮瘻閉鎖術	1.98	87.2
D012HTLV-I抗体価精密	1.28	84.5
L101胸・腰交感神経節ブロック, 他	0.17	82.6
C102-2在宅血液透析指導管理料・透析液供給装置加算	8.05	76.9
C102-2在宅血液透析指導管理料	3.82	76.9
D417組織試験採取・精巣(睾丸), 精巣上体(副睾丸)	0.37	76.3
K073関節内骨折観血的手術・肩鎖, 指(手, 足)	10.54	74.2
H000心疾患リハビリテーション料	6.72	74.1
D252扁桃マッサージ法	0.04	72.1
K426口唇裂形成手術・口唇裂鼻形成を伴う	3.65	71.4
D249蝸電図	0.61	71.4
J027高気圧酸素治療・非救急的	2.91	70.7
M000放射線治療管理料・非対向2門照射又は3門照射	29.87	67.5
D253嗅覚検査 基準嗅覚検査	1.96	66.6
D012HIV抗原精密, 白血球中サイトメガロウイルスpp65抗原	4.20	66.3
K288副耳(介)切除術	5.43	63.9
D201コンプライアンス, 気道抵抗, 他	1.82	57.3
D007ビタミンB1定量精密	2.41	57.1
D007赤血球プロトポルフィリン定量, トロンボモジュリン精密	0.48	56.4
M001体外照射加算・体外照射用固定器具使用	8.41	55.1
K885膣式卵巣嚢腫内容排除術	2.03	51.4
D254電気味覚検査	2.00	46.9
J013ダグラス窩穿刺	0.39	45.9
K353鼻内篩骨洞手術	18.50	45.4
K476-2陥没乳頭形成術, 再建乳房乳頭形成術	13.86	44.6
D016モノクローナル抗体法によるT細胞サブセット検査	11.16	44.4
D204基礎代謝	0.15	43.9
K522食道ブジー法	4.26	43.6
K285耳介血腫開窓術	0.71	41.4
D010アミノ酸定量 1種類につき	3.40	41.2
D012サイトメガロウイルス抗体価精密	0.54	40.9

表2. 主要外来傷病名一覧表

外来傷病名	点数
高血圧性疾患	34,483,754,255
腎不全	17,247,647,717
糖尿病	15,540,458,890
その他の内分泌・栄養及び代謝疾患	8,364,539,277
喘息	6,714,831,701
脳梗塞	6,623,535,577
虚血性心疾患	6,013,084,212
その他の眼及び付属器の疾患	5,858,245,545
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	5,571,875,015
胃炎及び十二指腸炎	5,373,413,726
皮膚炎及び湿疹	5,291,431,116
その他の急性上気道感染症	5,246,369,575
その他の損傷及びその他の外因の影響	5,152,365,317
白内障	4,852,435,595
良性新生物及びその他の新生物	4,842,108,798
脊椎障害(脊椎症を含む)	4,698,713,760
関節症	4,672,723,296
その他の心疾患	4,534,134,089
その他の悪性新生物	4,109,149,966
急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,058,440,347
屈折及び調節の障害	3,369,652,787
ウイルス肝炎	3,008,707,696
肩の密度及び構造の障害	2,902,227,148
その他の消化器系の疾患	2,804,366,090
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,782,369,564
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,562,928,309
骨折	2,525,953,427
急性咽頭炎及び急性扁桃炎	2,498,423,764
その他の呼吸器系の疾患	2,417,084,967
炎症性多発性関節障害	2,400,982,014

表3-1. 高血圧性疾患で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	高血圧性疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0847	1694.3
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0077	0.0343	1196.8
B001-4手術前医学管理料	0.0003	0.0024	400.4
F100特定疾患処方管理	0.0025	0.0072	392.3
B001-3運動療法指導管理料 1 口	0.0004	0.0022	341.6
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0019	0.0049	291.2
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0014	0.0034	236.4
A001再診料・電話等以外	0.0439	0.0536	215.3
C001在宅患者訪問診療料	0.0030	0.0054	199.7
D208心電図検査 最低12誘導	0.0028	0.0052	197.7
C000寝たきり老人在宅総合診療料 口	0.0015	0.0028	149.4
F100処方料2	0.0246	0.0295	144.9
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0010	0.0021	144.8
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0007	0.0015	137.6
C000往診料	0.0026	0.0040	119.4
C001寝たきり老人訪問診療料(Ⅱ)	0.0029	0.0043	112.3
A001再診料 病院 電話等	0.0016	0.0026	111.6
C000寝たきり老人在宅総合診療料 イ	0.0021	0.0033	111.5

表3-2. 腎不全で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
J038人工腎臓・透析4時間以上5時間未満	0.0219	0.2869	5582.3
J038人工腎臓 入院外の血液透析 4時間未満	0.0166	0.2211	4895.9
J300特定保険医療材料 ダイアライザー等	0.0049	0.0637	2567.9
J038人工腎臓・5時間以上	0.0029	0.0391	2035.3
J038人工腎臓・加算 時間外, 休日	0.0026	0.0347	1903.0
B001慢性維持透析患者外来医学管理料	0.0027	0.0351	1901.8
B001高度難聴指導管理料 口	0.0014	0.0187	1397.8
J038人工腎臓・4時間以上5時間未満	0.0008	0.0104	1021.0
J038人工腎臓・食事	0.0008	0.0099	1010.3
J038人工腎臓・障害者	0.0006	0.0080	904.0
G100静脈内注射	0.0050	0.0176	736.9
G100点滴, 老人点滴, 中心静脈注射, 埋込型中心静脈栄養	0.0076	0.0219	687.4
G100肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	0.0037	0.0119	565.2
K606動脈形成術吻合術・その他の動脈	0.0002	0.0024	513.3
C102在宅自己腹膜灌流指導管理料	0.0002	0.0024	468.7
K624胸管ドレナージ法	0.0001	0.0014	399.4
K950その他の特定保険医療材料	0.0002	0.0016	368.1
J038その他の場合 4時間未満	0.0001	0.0012	322.0
J038人工腎臓・5時間以上	0.0001	0.0010	307.1
K613四肢の血管拡張術・血栓除去術	0.0000	0.0006	265.1
C102自動腹膜灌流装置	0.0000	0.0003	184.0
J038人工腎臓・導入期	0.0000	0.0003	182.6
D007ビタミンB2定量精密	0.0000	0.0002	117.5
C102-2透析液供給装置	0.0000	0.0001	115.6
K635胸水・腹水濾過濃縮再静注法	0.0000	0.0001	113.0
B001外来栄養食事指導料	0.0001	0.0004	103.6

表3-3. 糖尿病で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
C101在宅自己注射指導管理料 1	0.0027	0.0390	2062.3
C101在宅自己注射指導管理料 2	0.0018	0.0261	1681.5
C101加算 血糖自己測定値指導 I型糖尿病含む	0.0017	0.0253	1672.4
K276網膜光凝固術・その他特殊なもの	0.0037	0.0290	1453.1
C101在宅自己注射指導管理料・注 入 器	0.0011	0.0159	1309.2
D005Donath-Landsteiner試験, ヘモグロビンA1c	0.0014	0.0143	1142.5
D001尿中マイクロトランスフェリン精密	0.0006	0.0063	742.4
C101在宅自己注射指導管理料・I型糖尿病のみ	0.0001	0.0021	494.0
D007膠質反応, クレアチン, グルコース, LDH, 酸性フォスファターゼ, 他	0.0002	0.0023	449.4
K276網膜光凝固術 通常	0.0011	0.0046	416.6
B001-5手術後医学管理料 病院	0.0001	0.0013	380.8
D288耐糖能精密検査	0.0002	0.0015	367.9
D400血液採取 静脈	0.0013	0.0044	350.1
D006凝固時間, 血餅収縮能, 毛細血管抵抗試験	0.0034	0.0075	305.0
D001アルブミン定量精密, デルタアミノレブリン酸定量, ポリアミン	0.0001	0.0009	294.4
D000尿中一般物質定性半定量検査	0.0011	0.0032	271.9
B001外来栄養食事指導料	0.0001	0.0008	220.1
D008インスリン精密	0.0001	0.0005	217.6
D001アルブミン定性	0.0000	0.0004	198.7
B001-3運動療法指導管理料 1 ハ	0.0002	0.0009	193.0
D257細隙燈顕微鏡検査(前眼部及び後眼部)	0.0013	0.0029	183.7
D007心筋トロポニンT定性, グリコアルブミン	0.0000	0.0003	179.2
K268線維柱帯切断術, 線維柱帯切除術, 他	0.0000	0.0003	177.7
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0010	0.0023	168.4
D026検体検査判断料 尿・糞便等検査	0.0006	0.0015	165.7
D006出血時間	0.0004	0.0011	165.6
D288糖負荷試験 常用負荷試験	0.0000	0.0003	157.7
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0019	0.0035	156.3
D256蛍光眼底法の場合	0.0001	0.0006	155.6
D007重炭酸塩, リボプロテイン試験, グアナーゼ(GU)	0.0000	0.0003	154.4
D007HDL-コレステロール, LDL-コレステロール, 他	0.0002	0.0006	153.4
J038人工腎臓・その他の場合 4時間未満	0.0001	0.0005	151.4
D008黄体形成ホルモン(LH)半定量定量精密, FSH日精密, 他	0.0001	0.0005	143.1
B001在宅療養指導料	0.0000	0.0002	120.2
D255-2汎網膜硝子体検査(片側)	0.0001	0.0004	111.1
D006プロトロンビン時間	0.0004	0.0009	110.7
D001B-J蛋白定性, 糖定量, メラニン定性	0.0000	0.0002	110.3

表3-4. 気管支喘息で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
B001-2小児科外来診療料 1 口	0.0026	0.0215	1271.6
B001小児特定疾患カウンセリング料	0.0003	0.0095	1184.2
D015特異的IgE	0.0015	0.0137	1071.5
C103酸素濃縮装置	0.0055	0.0256	1061.5
C103在宅酸素療法指導管理料 2	0.0026	0.0119	718.0
D015アレルギー刺激性遊離ヒスタミン測定, ヘモペキシン	0.0005	0.0048	644.6
B001-2小児科外来診療料 1 イ	0.0018	0.0084	607.9
B001-3運動療法指導管理料 1 イ	0.0013	0.0056	475.8
B0014月目以後	0.0004	0.0028	459.1
D205呼吸機能検査等判断料	0.0002	0.0020	457.4
D015アポリポ蛋白, β 2-マイクログロブリン, 非特異的IgE	0.0003	0.0020	385.3
B001急速飽和	0.0001	0.0015	378.9
D200フローボリュームカーブ	0.0001	0.0013	367.7
D223経皮的動脈血酸素飽和度	0.0001	0.0013	363.3
A000乳幼児育児栄養指導	0.0008	0.0031	338.8
J026間歇的陽圧吸入法 (IPPB)	0.0000	0.0008	316.0
D200スパイログラフィー等検査 肺気量分画	0.0001	0.0009	288.1
D015第Ⅷ因子様抗原精密, 第Ⅷ因子様抗原	0.0001	0.0008	266.8
F400特定疾患処方管理	0.0077	0.0123	237.7
B001喘息治療管理料 イ	0.0000	0.0003	203.4
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0019	0.0039	196.4
C001寝たきり老人訪問診療料 (Ⅱ)	0.0029	0.0053	192.1
E001頭部, 胸部, 腹部, 脊椎 1枚 単独	0.0022	0.0042	189.8
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0010	0.0024	180.6
C103設置型液化酸素装置	0.0002	0.0007	172.8
D018細菌培養同定検査 口腔, 気道, 呼吸器	0.0002	0.0009	167.5
J114ネブライザー	0.0007	0.0017	160.2
D026免疫学的検査	0.0040	0.0061	149.9
C107加算 陽圧式人工呼吸器	0.0001	0.0004	140.9
J018喀痰吸引	0.0000	0.0002	139.9
D007アルブミン非結合型ビリルビン, 他	0.0001	0.0004	137.1
B001特定薬剤治療管理料 薬物血中濃度	0.0007	0.0014	119.0
D023マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー核酸同定精密検査, 他	0.0000	0.0003	117.9
G100点滴, 老人点滴, 中心静脈注射, 埋込型中心静脈栄養	0.0076	0.0098	113.9

表3-5. 脳梗塞で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
E202単純MRI撮影 頭部 1回目	0.0042	0.0464	2096.7
C001寝たきり老人訪問診療料(Ⅱ)	0.0029	0.0345	1834.4
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0678	1272.0
E203コンピュータ断層診断	0.0071	0.0332	1218.7
C001在宅患者訪問診療料	0.0030	0.0212	1200.1
C000寝たきり老人在宅総合診療料 イ	0.0021	0.0178	1167.1
E200単純CT撮影 頭部 1回目	0.0033	0.0215	1165.7
C000寝たきり老人在宅総合診療料 口	0.0015	0.0143	1108.4
E202特殊MRI撮影 頭部 1回目	0.0005	0.0096	1081.5
C001寝たきり老人訪問診療料(Ⅰ)	0.0017	0.0113	847.2
C000往診料	0.0026	0.0120	724.8
E202単純MRI撮影・頭部 2回目以降	0.0003	0.0032	547.4
C003寝たきり老人訪問指導管理料	0.0004	0.0032	515.7
C007訪問看護指示料	0.0004	0.0032	510.7
H003言語療法 複雑	0.0001	0.0017	415.0
C002在宅時医学管理料	0.0001	0.0014	402.0
C109寝たきり老人処置指導管理料	0.0001	0.0015	358.7
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0014	0.0042	320.6
C109在宅寝たきり患者処置指導管理料	0.0001	0.0011	312.2
C105在宅成分栄養経管栄養法指導管理料	0.0002	0.0011	265.0
H0026月超 複雑	0.0000	0.0005	252.0
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0077	0.0126	248.0
C003寝たきり老人末期訪問診療料(Ⅱ)1	0.0001	0.0006	241.8
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0007	0.0021	218.7
C005在宅患者訪問看護・指導料 1 イ	0.0003	0.0011	200.1
E101シングルホトンエミッションコンピュータ断層撮影(SPECT)	0.0003	0.0011	183.0
C003寝たきり老人末期訪問診療料(Ⅰ)1	0.0000	0.0004	169.1
D235脳波検査 30分以内	0.0001	0.0006	157.9
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0044	0.0067	157.2

表3-6. 虚血性心疾患で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
E400ラジオアイソトープ料	0.0022	0.0209	1326.0
D215UCG 断層撮影法及びMモード法による	0.0022	0.0182	1178.4
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0569	984.7
E101シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影(SPECT)	0.0003	0.0070	948.8
D208心電図検査 最低12誘導	0.0028	0.0161	938.7
D211トレッドミル負荷心機能検査, 他	0.0003	0.0054	816.3
E101SPECT負荷試験	0.0001	0.0031	660.1
D206左心カテーテル	0.0001	0.0023	585.4
D209負荷心電図検査 最低12誘導	0.0002	0.0028	553.5
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0077	0.0185	527.1
D215UCG加算 パルスストップラー法	0.0004	0.0031	476.2
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0044	0.0105	396.7
D206心臓カテーテル法 右心カテーテル	0.0000	0.0008	356.2
C001寝たきり老人訪問診療料(I)	0.0017	0.0051	346.6
D206加算 冠動脈造影, 他	0.0000	0.0008	346.3
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0014	0.0039	283.3
G005-2中心静脈注射用カテーテル挿入	0.0000	0.0005	262.4
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0007	0.0022	243.5
E001頭部, 胸部, 腹部, 脊椎 1枚 単独	0.0022	0.0047	234.0
E102核医学診断	0.0001	0.0009	224.6
A002老人外来管理 病院	0.0011	0.0027	203.8
J047カウンターショック	0.0000	0.0005	199.2
F400処方せん料 1	0.0003	0.0012	198.8
C103酸素濃縮装置	0.0055	0.0088	198.6
H000心疾患リハビリテーション料	0.0000	0.0002	191.7
G200中心静脈用カテーテル	0.0000	0.0002	164.9
C103在宅酸素療法指導管理料 2	0.0026	0.0043	151.6
D006ヘパリン抵抗試験, 活性化部分トロンボプラスチン時間, 他	0.0002	0.0006	134.9
B001心臓ペースメーカー指導管理料 口	0.0001	0.0004	124.9
D008ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)精密	0.0000	0.0002	117.9
J044救命のための気管内挿管	0.0000	0.0001	112.3
C003寝たきり老人訪問指導管理料	0.0004	0.0008	109.2
D214脈波図, 心機図, ポリグラフ検査2誘導	0.0000	0.0001	106.0

表3-7. 胃潰瘍で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
D308胃・十二指腸ファイバースコープ	0.0064	0.0973	3324.7
D101病理組織顕微鏡検査	0.0033	0.0305	1590.5
D414内視鏡下生検法	0.0008	0.0110	1088.8
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0019	0.0065	431.6
D013HCV抗体価精密, HCV抗体価	0.0008	0.0033	367.1
D215断層撮影法 胸腹部	0.0098	0.0169	318.6
K697-4生体部分肝移植	0.0000	0.0006	316.7
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0010	0.0035	313.1
E000透視診断	0.0002	0.0013	277.7
D324粘膜点墨法	0.0000	0.0006	255.8
D105病理学的検査判断料	0.0008	0.0026	253.2
D313上行結腸及び盲腸	0.0015	0.0037	251.4
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0287	183.2
A001再診料 病院 電話等	0.0016	0.0032	180.2
D013HBs抗原	0.0002	0.0007	166.0
D012TPHA試験(定性), マイコプラズマ抗体価, ASP	0.0002	0.0006	148.2
K654内視鏡的消化管止血術	0.0000	0.0003	144.2
D026免疫学的検査	0.0040	0.0059	140.3
D101免疫抗体法	0.0000	0.0002	138.3
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0014	0.0024	127.8

表3-8. 胃炎で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
D308胃・十二指腸ファイバースコープ	0.0064	0.0589	2220.3
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0555	948.5
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0077	0.0265	879.2
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0044	0.0141	610.4
A002外来管理	0.0131	0.0233	399.8
E000透視診断	0.0002	0.0019	381.2
D414内視鏡下生検法	0.0008	0.0034	380.5
F100特定疾患処方管理	0.0025	0.0070	379.4
D215断層撮影法 胸腹部	0.0098	0.0160	277.6
G004皮下・筋肉内注射に準ずる注射	0.0006	0.0022	253.8
D313上行結腸及び盲腸	0.0015	0.0033	207.6
K617下肢静脈痛手術 抜去切除術	0.0000	0.0003	206.8
G001静脈内注射入院外	0.0021	0.0041	194.8
D215経食道的超音波法	0.0000	0.0002	147.4
D324粘膜点墨法	0.0000	0.0003	136.4
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0019	0.0032	125.8
D003ヘモグロビン	0.0001	0.0004	122.2
E002消化管 3枚	0.0000	0.0002	118.2
E002消化管 4枚	0.0000	0.0002	115.4

表3-9. 皮膚炎で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
F200外用	0.0212	0.0797	1651.0
J053皮膚科軟膏処置・2肢又は全腹又は準ずるもの	0.0004	0.0137	1434.0
D015特異的IgE	0.0015	0.0176	1319.9
J053皮膚科軟膏処置・1肢又は準ずるもの	0.0003	0.0098	1185.3
J053皮膚科軟膏処置・半肢, 頭部, 頸部, 顔面の大部	0.0003	0.0066	917.5
J053皮膚科軟膏処置・手及び指又は足及び指	0.0006	0.0080	909.5
D015アレルギー刺激性遊離ヒスタミン測定, ヘモペキシン	0.0005	0.0054	702.7
A002外来管理	0.0131	0.0310	681.1
J054皮膚科光線療法 赤外線又は紫外線療法	0.0004	0.0044	670.0
D026微生物学的検査	0.0016	0.0081	620.8
J053皮膚科軟膏処置・身体の大部にわたるもの	0.0001	0.0023	589.8
B001-2小児科外来診療料 1 口	0.0026	0.0101	589.5
B001皮膚科特定疾患指導管理料(I)	0.0005	0.0038	515.1
F400特定疾患処方管理	0.0077	0.0177	499.0
B001-2小児科外来診療料 1 イ	0.0018	0.0071	497.3
D015アポリポ蛋白, β 2-マイクログロブリン, 非特異的IgE	0.0003	0.0022	411.7
F000外用	0.0010	0.0042	405.7
D015第Ⅷ因子様抗原精密, 第Ⅷ因子様抗原	0.0001	0.0012	361.3
A000乳幼児育児栄養指導	0.0008	0.0032	347.8
D291皮内反応検査	0.0000	0.0009	331.8
B011-3薬剤情報提供料	0.0018	0.0044	261.5
A002外来診療料	0.0203	0.0282	254.2
B001-3運動療法指導管理料 1 イ	0.0013	0.0033	238.5
K006皮膚, 皮下腫瘍摘出術(露出部以外)長径3cm未満	0.0005	0.0017	231.2
J056いぼ冷凍凝固法 3か所以下	0.0005	0.0018	226.0
J057軟属腫摘除	0.0002	0.0010	213.7
D016フローサイトメトリー法によるT細胞・B細胞百分率検査	0.0001	0.0006	195.7
J054長波紫外線又は中波紫外線療法	0.0001	0.0005	181.4
G001静脈内注射入院外	0.0021	0.0038	163.7
J057-2面皰圧出法	0.0000	0.0003	153.4
D417組織試験採取, 切採法 皮膚, 筋肉	0.0000	0.0003	117.9